



ADRC Highlights

Vol.101

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

September 16, 2004

➤ ADRC 新任客員研究員レポート □ フアシー・タマサック研究員(ラオス)

私は、ラオス・厚生労働省社会福祉局国家防災事務所 (NDMO)で勤務しており、災害情報に関わる支援とコミュニティベースでの防災プロジェクトの調整を行っています。アジア防災センター (ADRC)には、今年の7月から12月までの6ヶ月間、客員研究員として勤務することになっており、この貴重な機会に日本の防災システムについて学ぶとともにADRCのスタッフとラオスの防災情報を共有できればと思っています。帰国後は引き続き、ラオス政府で防災行政実務に携わっていきたくと思っています。



ラオスが、世界の中の開発途上国の一つである原因は、主に土地問題、自然災害、ペスト、環境悪化、農業生産のための水不足などが挙げられます。不発弾 (UXO)汚染もまた、一つの要因となっています。

ラオスはまた、メコン川下流域に位置していることから、上流域の水量が増加する時期の5月から9月にかけて洪水が起こりやすくなります。2001年に起きた洪水では、4.2万haにもおよび農業地域への被害が、また2002年には4.3万haに被害をもたらしました。

同国政府は、このような自然災害による被害に対処するために、1999年8月に国家防災委員会 (NDMC)を設立し、防災政策の決定や23の省庁をまとめる調整役としての機能をはたすことになりました。このNDMCは、州や区、村など地域レベルの事務所もあります。NDMOは、NDMCの事務局としての役割を担っており、ラオスにある防災機関や政府機関、国連、国際NGO間の協力を推進しています。

NDMOが現在行っている主要プログラムやプロジェクトとしては、被災地の人々の防災能力向上プログラム、メディアを通じた意識啓発向上・教育プログラム、そして早期警報情報の伝達プログラムなどです。

NDMOはまた、ADRCはむろん、国連世界食糧計画 (WFP)、ケア・インターナショナル、Concern Worldwide等とも連携して活動を行っています。

➤ ベトナム洪水ハザードマップ訓練への講師派遣

アジア防災センター (ADRC)は、2004年6月28日から7月8日にかけて開催された「ベトナム洪水ハザードマップ訓練」プログラムに協力し、講師1名を派遣しました。

当プログラムは、米国国際開発庁 (USAID)の協力のもと、国連開発計画防災ユニット (UNDP/DMU)が国連

人道問題調整事務所 (UN/OCHA)神戸とともにベトナム中部のビンディン州クイニオン市とクオンナム州ホイアン町において、開催したものです。日本からは、ADRC元所長でもある富士常葉大学の小川雄二郎教授とADRC主任研究員の羽鳥友彦の2名が講師として招かれました。

小川教授は住民向け防災啓蒙手法であるタウンウォッチング訓練を指導されました。これはコーディネイターとともに住民自ら生活範囲を調査し、グループ討論を通して個人の防災意識を啓蒙し地域



の連携も深めることを目的としたものです。訓練は、グループ単位で防災に着目しながら街を歩き、気付いた点を写真や地図で記録することから始まりました。その結果を大判の地図に整理し、防災上の問題点とその対策を実施主体を含めて考察しました。参加者にとっては初めての経験でしたが、自ら作成した手書きハザードマップを見ながらの議論は大変好評を博しました。

一方、羽鳥は、ハザードマップの作成方法とそのツールとしての地理情報システム (GIS) GISの有用性、さらにはリスクコミュニケーションのツールとしてのハザードマップ活用法について講義を行いました。講義の中で羽鳥は、ハザードマップ作成・更新には、GISを用いたデータ管理や解析が有用であること、また、ハザードマップ作成過程自体も、行政と地域住民の合意による防災政策を策定していく上で有効であることなどを解説しました。また、ハザードマップは、あくまでも想定されるシナリオの一つに過ぎず、災害発生の危険性をにらみながら引き続いて更新していくことが重要と強調しました。

今回の訓練プログラムでは、研修生のみならずUNDP/DMUのスタッフを交えて、今後の防災活動にハザードマップをどう活用していくか議論がされるなど、有意義なものとなりました。なお、この件に関しましては、羽鳥 (hatori@adrc.or.jp)までお願いします。

➤ アジア最新災害情報: 中国の暴雨と洪水

2004年9月3~5日にかけて、南充、達州、綿陽、広元の各市を含む四川省北東部は、暴風雨に見舞われました。また、重慶地方でも数日間にわたり集中豪雨が続き、洪水や土砂崩れをもたらしました。中国政府によると、四川省で79人、重慶地域で34人の死者が出ています。詳細は、www.adrc.or.jpまでお願いします (2004年9月8日付OCHAレポートより)。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 ひと未来館5F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546

誌代・送料: 無料 / 毎月2回発行 (予定)